

# 具体的な施策の方向

施策の柱	取組の方向	取組項目	主な取組内容	評価指標
①当事者である子どもの権利擁護	社会的養育の当事者である子どもの権利を守るとともに、 <b>子どもからの意見聴取や意見を酌み取る</b> 方策等について、実情に応じた取組を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童相談所、児童養護施設等と連携したこどもの権利擁護</li> <li>・子どもの意見の養育の場や施策等への反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親、施設職員、児童相談所職員等で構成する<b>子どもの権利擁護に関する検討会議を開催</b></li> <li>・「子どもを虐待から守る審議会」において、<b>子どもの意見聴取方法等を検討</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会議の開催 (R1現在：－) (R2：定例化)</li> </ul>
②児童相談所の強化	社会的養育、児童虐待等、児童に関する多様な支援を担う <b>児童相談所の相談体制の強化</b> を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童相談所職員の確保・育成</li> <li>・児童相談所への専門職の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>児童福祉司等職員の増員</b></li> <li>・<b>SV(スーパーバイザー)の増員及び育成</b></li> <li>・児童相談所への弁護士配置の継続</li> <li>・児童相談所への医師の配置の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉司数 <small>※虐待対応件数実績により変動あり</small> (R1現在：31名) (R4：60名以上※)</li> <li>・研修種別数(義務研修を除く) (R1現在：10) (R6：12以上)</li> </ul>
③市町村の子ども家庭支援体制構築	「家庭での自立した子育て」の実現に向け、 <b>市町村をはじめとした関係機関の体制強化</b> を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の相談機能、支援機能強化</li> <li>・児童相談所の補完的役割を担う児童家庭支援センターの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>市町村子ども家庭総合支援拠点設置に向けた研修等の支援</b></li> <li>・母子生活支援施設の活用に向けた支援</li> <li>・<b>児童家庭支援センター設置に向けた支援</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村子ども家庭総合支援拠点の設置市町村数 (R1現在：6市町村) (R4：39市町村)</li> </ul>
④里親等への委託の推進	里親及びファミリーホームで養育されることが望ましい児童の委託の推進に向け、 <b>里親登録数の増加、里親へのマッチングの向上</b> に向けた取組を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「里親のリクルート及びアセスメント」、「里親に対する研修」、「マッチング」、「委託中の里親養育への支援」、「里親委託措置解除後の支援」体制の構築</li> <li>・児童相談所の相談体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>里親関連業務(フォスタリング業務)の包括的な実施体制構築の検討及び推進</b></li> <li>・<b>里親支援機関への支援及び連携の強化</b></li> <li>・児童福祉司を増員し、里親関連研修を強化</li> <li>・<b>里親養育支援児童福祉司の配置</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親養育支援児童福祉司数 (R1現在：－) (R4：2名)</li> </ul>
⑤特別養子縁組等の推進のための支援体制の構築	児童に <b>永続的に安定した養育環境を提供</b> するため、相談体制の強化に向けた取組を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童相談所の相談体制の強化</li> <li>・民間における相談体制に対する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉司を増員し、特別養子縁組制度関連<b>研修の充実を図り、相談体制を強化</b></li> <li>・特別養子縁組成立を担う<b>民間あっせん機関との連携及び支援の実施</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養子縁組里親への委託児童数 (H21～H30実績：計18名) (R2～R11：計25名)</li> </ul>
⑥施設の小規模化・地域分散化、高機能化・多機能化・機能転換	児童養護施設、乳児院における家庭的な養育環境のさらなる提供、里親委託の推進、今後の児童人口の減少も踏まえた <b>施設の機能転換</b> に対する支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童養護施設、乳児院の小規模化・地域分散化への支援</li> <li>・児童養護施設、乳児院の高機能化及び多機能化・機能転換への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>地域小規模児童養護施設、分園型小規模グループケア設置を支援</b></li> <li>・児童家庭支援センター設置を支援</li> <li>・児童養護施設等での一時保護体制の強化を支援</li> <li>・心理職、里親支援専門相談員配置を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域小規模児童養護施設数 (R1現在：5施設) (R6：6施設以上)</li> </ul>
⑦一時保護改革	一時保護の受入体制を整えるとともに、児童の権利擁護、安全確保及び適切なアセスメントに向けた <b>一時保護のあり方の検討</b> を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保護所における良好な生活環境の提供</li> <li>・一時保護所における子どもの権利擁護</li> <li>・一時保護所の質の評価と改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>生活環境(個別性等)の配慮の強化</b></li> <li>・<b>子どもの意見を汲み取る取組の強化</b></li> <li>・職員の専門性向上に向けた研修の強化</li> <li>・<b>一時保護の質、支援内容の評価の検討</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門性向上に向けた研修の実施回数 (R1現在：－) (R2：2回以上)</li> </ul>
⑧社会的養護自立支援	代替養育、在宅指導を含めた社会的養育を経験した <b>児童の自立支援の推進及び自立後の継続した支援</b> の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の自立支援</li> <li>・施設退所者等の居場所づくり</li> <li>・退所後の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童養護施設入所児等の<b>自立支援策の検討</b></li> <li>・<b>自立援助ホーム等との連携及び支援の実施</b></li> <li>・施設退所者等の<b>フォローアップ策の検討</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立援助ホーム実施箇所数 (R1現在：2箇所) (R6：3箇所以上)</li> </ul>
⑨家庭養育、地域養育に対する支援の充実	「家庭での自立した子育て」を支援するため、児童相談所による <b>保護者、児童に対するケアの強化</b> を図るとともに、 <b>関係機関・団体との連携</b> を深め、地域における養育支援の充実・強化を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待の再発防止に向けた家庭への支援</li> <li>・家庭、地域養育に対する支援</li> <li>・障害のある児童の自立支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>虐待者へのケア、被虐待児への治療の強化</b></li> <li>・市町村や児童養護施設・乳児院等と連携し、<b>ショートステイ事業、トワイライトステイ事業等の在宅支援サービスを充実</b></li> <li>・医療機関、学校等との連携の推進</li> <li>・児童自立支援施設、児童心理治療施設との連携の推進</li> <li>・近年顕在化した諸課題(<b>DV、医療ネグレクト等</b>)への対応に向けた、関係機関との連携の強化</li> <li>・<b>児童の自立に向け、養護学校等との連携を強化</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被虐待児への心理治療プログラムを受講した職員数 (R1現在：－) (R4：4名以上)</li> </ul>